

台風シーズン到来

台風情報の入手と事前の対策

台風の年平均発生個数は27個で、そのうち1割が日本に到来しているといわれています。

今年はまだ4号までしか発生しておらず（8月18日現在）、日本に上陸した台風はまだ1つしかありません。ですが、これからが台風本番です。

台風は、地震の突発的な発生と違い、規模や進路などがある程度予測できます。これからの台風到来シーズンを控え、「生命・身体・財産」の被害を最小限にするためにも、最新の「**台風情報の入手**」と、それに伴う「**事前の対策**」が大切です。

【台風情報の収集】

台風が近づいたら、継続的にテレビ・ラジオなどの台風情報を収集するよう努めてください。N・T・T電話の1777番、気象庁のホームページ、携帯電話などからも最新情報が入手できます。



【情報の活用】

① 台風が小松島市の西側を北上する進路をとった場合、一般的に風雨が強くなります。特に、満潮時刻と重なった場合は、高潮が発生することも考えられます。台風の進路・強さ・通過時刻などに注意が必要です。

② 大雨警報や洪水警報が発表されたら避難準備を（体の不自由な方は避難を開始）してください。特に、夜に台風の通過が予想される場合は、明るいうちに避難をしておくことが大切です。

【暴風対策】



台風が来る前に暴風対策を済ませてください。通過中は屋外に出るのは非常に危険です。絶対にやめましょう。また、通過後も「吹き返し」の強風が来る可能性がありますので、風が弱まったからといってすぐ屋根の修理などに取りかかるのは危険です。

① 窓ガラスなどは、飛来物を避けるため外側から添え板などを施したり、内側からガムテープを×印に貼ると割れた場合の飛散防止に役立ちます。



② 雨戸、壁板、トタン屋根、シャッターなどの老朽部は、そえ木やロープなどで固定しましょう。

③ テレビアンテナや立ち木などで倒れる危険性があるものは、針金やロープでしっかり固定しましょう。ただし高所にあるアンテナや背の高い立ち木などの固定には危険が伴いますので、専門家の方に依頼した方がよいでしょう。

④ 看板や屋上・ベランダなどにある放置物などは飛散する可能性があります。家の中に取り込むなど

の処置をしましょう。（平成16年の台風では、隣近所の飛散物で被害を受けた家屋が見られました。隣近所の迷惑にならないよう、台風が来る前に飛散物の片付けなど、十分な処置をしておきましょう。）

⑤ 暴風により電線が切れたりして停電が起きることもあります。懐中電灯、携帯電話、飲料水や非常食の備蓄をしておきましょう。

